

山梨県介護助手等普及推進事業

成果報告

社会福祉法人 壽光会
特別養護老人ホーム笛吹荘

取組の目的

- 笛吹荘は介護助手をケアアシスタントと呼ぶ。以前から日勤帯に入っている掃除、洗濯専門の生活支援員とは分けて考える。

- 人材の定着

ケアアシスタントを導入して周辺業務を一部任せることで、介護職員が時間内であわただしく終えている業務の負担が減り、心身の負担軽減が図れる。軽減されることで、時間のゆとりが生まれることや事故防止につながる。また、記録や研修時間の創出につながる。

- 介護の質の向上

介護職員として本来行わなければならない業務や、行いたいと思っている業務に時間が割けることで、利用者と向き合う時間や考える時間が増える。専門性が発揮され利用者のQOL向上につながる。

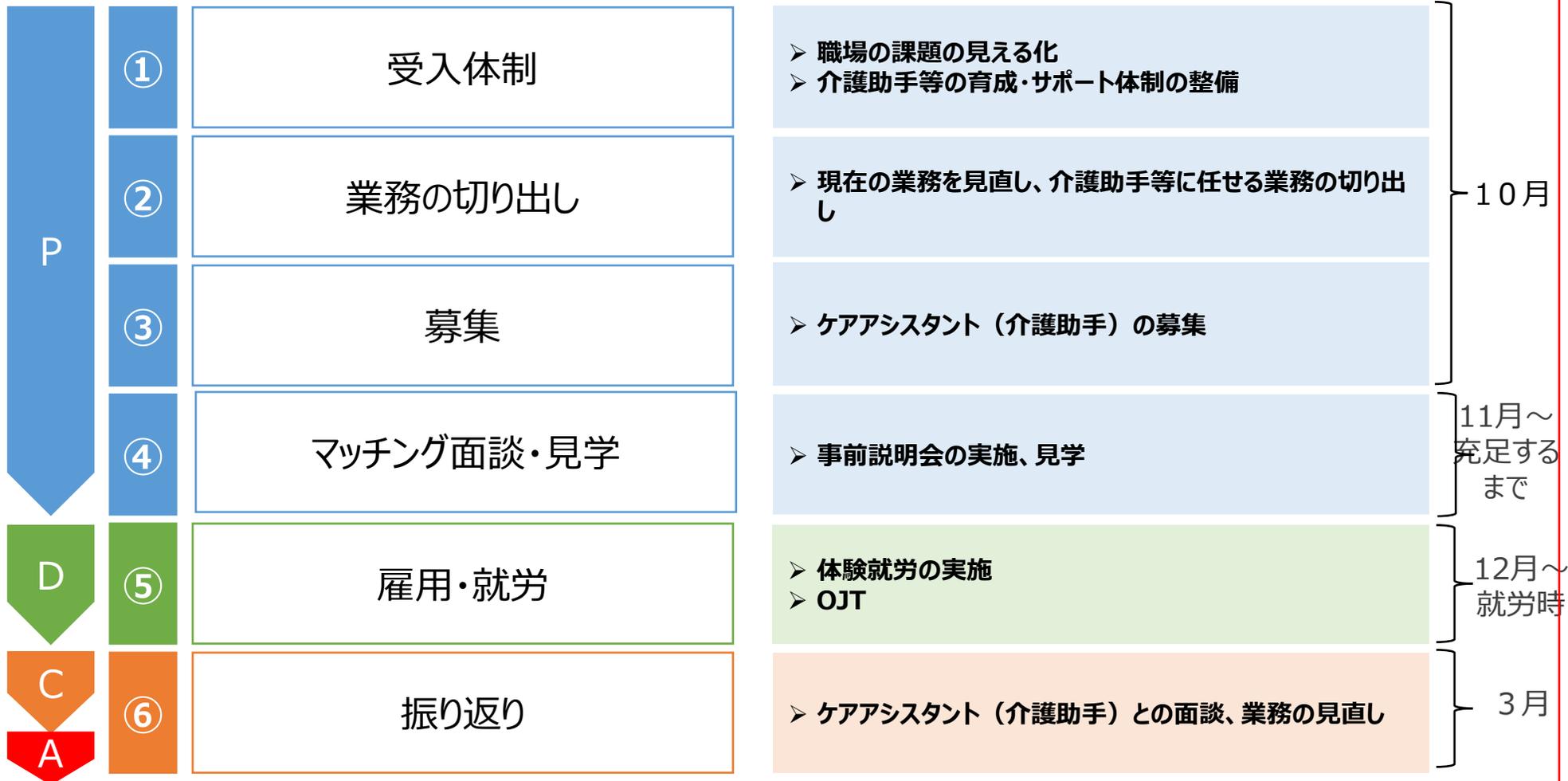
取り組みの流れ



取り組み全体の流れ

標準的な手順

プロジェクトの流れ



手順 1 : 受入体制

主担当 ◎ 副担当 ○

ステップ	経営者・施設長	事務長	受入担当者 (所長・介護主任)	該当フロア介護 職員
目的の明確化	◎	○	◎	
受入体制づくり	◎		◎	○
業務の切り出し			◎	○
求人募集	○	◎		
事前説明会・ マッチング面談		◎	○	
雇用・就労		◎	○	
振り返り・改善			◎	○

手順 2 : 業務の切り出し

大項目		カテゴリー	作業単位	専門性	介護助手に任せる業務	作業単位の例
II. ADL関連	5	更衣	5 3	C	1	衣服を準備する、衣服を（整え）片付ける
II. ADL関連	10	食事・おやつ・水分補給	1 0 3	C	1	配膳する、下膳する、準備する、片づける
II. ADL関連	14	入浴	1 4 3	C	1	（当日や次回の）入浴に向けた準備をする。浴室や脱衣場の片付けをする。掃除する
V. ひと・コミュニケーション	24	利用者・家族とのコミュニケーション	2 4 3	C	1	利用者とは会話（楽しい会話）する
VI. その他業務	28	掃除・洗濯	2 8 3	C	1	トイレ掃除・清掃（共有・居室部分）、洗濯・乾燥、洗濯物回収・たたむ入浴時間と別の時間での風呂場掃除、5S実行
VI. その他業務	29	ベッドメイキング	2 9 3	C	1	ベッドメイキングに関する準備、片付け

手順 2 : 業務の切り出し (実行計画の策定)

目標：介護職員の周辺業務の回数や時間が減少する

【KGI】
生産性向上が図れる

【KPI】

残業時間の減少

【KPI】

周辺業務に要した時間

【KPI】

事故発生件数
(時間帯別)

【KPI】

離職率

【アクション】

- ・記録物を時間内で行う
- ・会議を時間内で行う

【アクション】

- ・業務の切り出しをする
- ・業務の発生頻度を減らす
- ・業務工数を減らす（簡素化する）

【アクション】

- ・介護職員が目が行き届く行動
- ・インカムの使用

【アクション】

- ・職員からの聞き取り
- ・改善事項の増加

残業時間の減少と事故発生件数の減少を期待

- ・切り分けに対しての不安。変化に対しての抵抗
- ・経験値が違う職員同士の意見のすり合わせ。マニュアルの見直し（周辺業務を行う時間や順番等現状に合わせる）
- ・平準化すること（介護より作業を好む傾向、決めつけ業務の偏り発見）

手順3：募集

- 募集の手順の中で実施したこと。
ハローワーク求人掲載、ポスティング、新聞折込み、職員からの紹介
- 苦労した点は、応募の方の都合と要望のすり合わせ。曜日と時間帯を調整し交渉すること。前に応募した方の曜日や時間と被る場合お断りが生じる。また、就労してしまうとその後の曜日変更が難しい。
- 工夫した点は短時間勤務のため、近隣の方で隙間時間の活用ができるように、学生や副業も可とした。なるべく長期働ける方を採用。
※学生の方で短期バイト（冬休みのみ）の方は断った。
副業の方は本業の勤務表が出てから施設の出勤日が決定するので、調整が必要。扶養の範囲内の場合も出勤日数を制限する必要あり。

手順4:事前説明会・マッチング面談

- マッチング面談で事前に説明する内容のチェックリスト化
- 面談時で確認することなどのチェックリスト
- 出退勤の方法、出勤簿、ロッカー、備品等の使い方等
- 服装、身だしなみ、清潔保持
- 時間の流れ確認
- 留意点、してはいけないこと（直接的な介護、個人情報保護等）
- 担当職員紹介、報告について等
- 説明終了後見学をする
- 体験就労の実施
後日体験してもらい、実際に業務ができるかどうか判断してもらってから就労日を決定する。

山梨県委託事業
令和6年度
介護助手等普及推進事業
ホテル事業所にてケアアシスタントを
募集しています

スキマ時間に働けます！

社会福祉法人 高光会
特別養老ホーム
笛吹荘

学生OK！副業OK！

未経験・無資格もOK

事業所からのコメント
福祉施設には介護以外にも力
になれる仕事があります。
一緒に働きませんか。
時給高めです！

業務内容：居室と食堂の間の誘導・移動の
見守り、食事の準備、
配膳・下膳、食堂・洗面の清掃等

就業時間：① 6:30～9:30
② 16:00～19:00
①・②のいずれか ③は残りわずか
勤務回数は週2～6回 応相談
土・日・祝を含むシフト制
週の労働時間は最大18時間

時給：介護福祉士資格 1,900～2,000円
その他の資格 1,800～1,900円
無資格 1,700円

勤務先所在地
〒404-0012山梨市牧丘町室伏2452

お問い合わせ先
社会福祉法人 山梨県社会福祉協議会
介護福祉総合支援センター
山梨県福祉人材センター
〒400-0005
山梨県甲府市北新1-2-12
山梨県福祉プラザ1F
TEL:055-254-8654

無料職業紹介事業所 19-0-010004
お問い合わせいただいた時には充足している可能性が
あります。
発行日 令和6年12月22日

手順5:雇用・就労

就労前オリエンテーション

- オリエンテーションは1時間を目安に行った。
- 見学の中で質問を受けて不安を解消。

就労後に工夫が必要な点

配膳、下膳時に名前が分からないので間違える可能性に対応。

- 対策) テーブルに名前を貼る。車椅子に名前の札を付けておく。
シーツ交換の手順以外に細かく伝えていく必要がある。
- 対策) ベッドメイクの技術以外に寝具に関する知識や利用者本人のこだわりを覚えておく必要がある。
- 業務が今後拡大する可能性があることを伝えておく。

手順6:振り返り

部屋グループ：（指定なし）

対象期間：令和06年04月01日（月）～令和06年09月30日（月）

時間帯	件数	割合
00:00～00:59	3	6.3
01:00～01:59	2	4.2
02:00～02:59	1	2.1
03:00～03:59	0	0.0
04:00～04:59	1	2.1
05:00～05:59	0	0.0
06:00～06:59	0	0.0
07:00～07:59	4	8.3
08:00～08:59	5	10.4
09:00～09:59	8	16.7
10:00～10:59	2	4.2
11:00～11:59	1	2.1
12:00～12:59	0	0.0
13:00～13:59	2	4.2
14:00～14:59	2	4.2
15:00～15:59	3	6.3
16:00～16:59	6	12.5
17:00～17:59	5	10.4
18:00～18:59	1	2.1
19:00～19:59	0	0.0
20:00～20:59	1	2.1
21:00～21:59	0	0.0
22:00～22:59	0	0.0
23:00～23:59	1	2.1
合計	48	

部屋グループ：（指定なし）

対象期間：令和06年10月01日（火）～令和07年03月31日（月）

時間帯	件数	割合
00:00～00:59	2	3.0
01:00～01:59	0	0.0
02:00～02:59	1	1.5
03:00～03:59	1	1.5
04:00～04:59	1	1.5
05:00～05:59	2	3.0
06:00～06:59	1	1.5
07:00～07:59	2	3.0
08:00～08:59	4	6.1
09:00～09:59	4	6.1
10:00～10:59	6	9.1
11:00～11:59	4	6.1
12:00～12:59	6	9.1
13:00～13:59	9	13.6
14:00～14:59	3	4.5
15:00～15:59	3	4.5
16:00～16:59	5	7.6
17:00～17:59	3	4.5
18:00～18:59	5	7.6
19:00～19:59	0	0.0
20:00～20:59	2	3.0
21:00～21:59	1	1.5
22:00～22:59	1	1.5
23:00～23:59	0	0.0
合計	66	

時間帯別事故発生率

- 6時30分～9時30分担当のケアアシスタントがいることで事故発生が減った時間帯がある。
- 16時～19時担当のケアアシスタントがいることで事故発生が減った時間帯がある。
- 事故が増えている時間帯の職員の動線を検証したい。

手順6:振り返り

職員の残業時間比較

ケアアシスタントが就労する前の9月の残業時間を100として比較

	9月	10月	11月	12月	1月
2階	100%	60.0%	57.1%	65.7%	82.8%
3階	100%	76.7%	73.2%	89.2%	76.7%

手順6:振り返り

現場の負担軽減の実感

- (夜勤者) 夜勤明けの負担が軽減された。(ポータブルトイレの片付け)
- (早番) 食事介助の時間が長めにとれるようになった。
- (早番) 早番が一人の時もあるので、周辺業務を行わないことで利用者に関わることができるようになった。
- (遅番) 日勤帯で行っていたことを分担することで、遅くならず休憩に入れるようになった。
(浴室掃除、リネン交換)
- (リーダー層) ケアアシスタントがいない日は介護職が担わなければならないので効果を感じる。
- (リーダー層) 夕方の時間帯が変更できたら更によいと思う。
- (フロア責任者) 介護業務と介護周辺業務を明確に切り分けしておかないと誤解が生じてしまい、効果が半減してしまう。



まとめ



まとめ

取組を通じて得た気づき、学び、感じたこと

- まずは介護現場全体を見渡し、そこからさまざまな仕事を洗い出し、未経験者にも任せられる内容を切り分けた。無駄や重複することが分かり業務省力化にもつながっている。また、事故件数がケアアシスタントがいる時間帯で減っていた。見守り効果があり、事故予防につながっている。
- 残業時間が減少した結果となった。もう少し減った理由を考える必要がある。2月はコロナクラスターになってしまい、特別な状況になってしまったので、3月以降の残業時間を見て修正していくこととする。

事業所としての今後の方針

- 継続雇用、引き続き夕方勤務できる方の追加募集。
- 介護の周辺業務とは何か、ケアアシスタントマニュアルの追記も含め、さらに業務の切り分けをして、任せる業務の範囲を広げる。